

日本家庭科教育学会 第56回大会（予告）

期 日：2013（平成25）年6月29日（土）～6月30日（日）

会 場：弘前大学 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

内 容：研究発表，総会，講演・シンポジウム，ラウンドテーブル，懇親会など

<講演・シンポジウム>6月29日午後

テーマ：「東日本大震災と家庭科教育―復興と家庭科学習―」

講演者：未定

シンポジスト：現職教員の方々

コーディネーター：長澤由喜子氏（岩手大学教育学部教授）

<課題研究中間発表・ラウンドテーブル>6月30日午後

・課題研究中間発表：2WGよりこれまでの研究推進状況の報告

・ラウンドテーブル全体テーマ：「子どもの学びが深まる広がる家庭科の授業づくり」（予定）

日本家庭科教育学会第56回大会研究発表申し込み要項

発表資格：2012（平成24）年度会費を納入した正会員・学生会員・海外会員に限ります。発表予定の非会員は、2月28日（木）までに入会申込書を事務局までお送り下さい。賛助会員の組織等の方で研究発表される方も入会手続きを済ませ、年会費をお支払いください。

※注意 入会申し込みと会費納入は同時にはできません（学会誌掲載の会則を参照のこと）。

発表内容：家庭科教育に関する研究成果で、未発表のものに限ります。

発表形態と発表者：口頭発表，ポスター発表の2つの方法があります。口頭発表は1人1回に限ります。共同研究で発表が複数にわたるときは，発表者を交替して下さい。

申込方法：口頭発表，ポスター発表のいずれも，インターネット（PASREG）による申し込みのみです。詳細は本学会のHPに掲載している「インターネット（PASREG）による申し込みマニュアル」をご覧ください。申し込みが完了次第，演題登録完了のメールが配信されます。また，発表要旨は，1,300字以上1,680字（30字×56行）です。要旨不備がある場合等（文字数が少ない）は，発表が不採択になることがあります。発表の採択・不採択については3月下旬にメールでお知らせいたします。

申込期間：2013（平成25）年3月4日（月）14時～3月14日（木）12時

締め切り間際の登録は混雑が予想されトラブルの原因になりますので極力避けてください。入力には意外と時間がかかり、締め切り時刻には強制的にシャットアウトされますので、締め切り日前日までに登録することをお勧めします。

発表方法：口頭発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。口頭発表の資料の準備の仕方、およびポスター発表のパネルの大きさや展示時間帯等、発表方法の詳細については2013年5月初旬ごろに届くプログラムに掲載します。なお、口頭発表の時間は15分、質疑応答の時間は5分です。

研究発表要旨作成上の留意事項について

日本家庭科教育学会大会並びに例会における研究発表にあたり、以下の観点に留意して発表要旨を執筆してください。以下の観点を踏まえていない場合には発表が不採択になりますのでご注意ください。

1. 継続研究の場合であっても，日本家庭科教育学会誌論文投稿規定に準じ，[続報（第2報、第3報）]の扱いは避け、各1編として独立した題目を付し、それぞれ完結した内容の発表とする。
2. 研究発表要旨には、目的、方法、結果等の内容が具体的に記載され、一読して研究の概要が理解できるように記載する。
3. 所定の用紙を満たす分量とし、過不足ない記載をする。